

目的 これまでに、乳幼児を対象とした衣服寸法に関する身体計測例はほとんどなく、まして、縦断的研究例は人類学的立場からのものに限られている。成長速度の急激なこの時期に個々人の体型変化を追跡的に研究することは、乳幼児の衣服設計の基礎研究として極めて重要なことと考え、この研究に着手した。

方法 乳幼児の身体計測項目の選定と計測方法の設定を試み、被検者の選出を行った。現在、家庭訪問により定期的に計測を行っている。計測項目は21項目、計測は天野が担当している。被検者は0～3歳の男児30人女児28人であるが、今回は、追跡調査に着手したばかりであり、データ数が少ない為、これまでに得られた少数データを横断的に処理し考察を加えた。

結果 生後1歳半頃までに各項目ともに急速な増大を示している。示数値により体型の変化を考察すると、この時期では頭部と腹部がきわだって大きく、四肢が短く、いわゆる赤ちゃんぽい体型であるが、月令が進むとともに徐々に比下肢長が増大し、ローラー示数の低下とともにやせ型の体型への移行がみられる。今後とも追跡的に計測を行い、個体の成長の変異につき、より深く研究を進めるつもりであるが、今回は予報として若干の知見を報告する。